

授業概要

- 本授業は、3年次、及び4年次の春期末までの2学年にまたがる授業です。
- 3年次の介護等体験実習、4年次の教育実習に向けて
実習に取り組むための準備を行います。実習の事前になすべきことを確認し、実習がより有意義なものになることを目指します。
 - 3年次の介護等体験実習、4年次の教育実習を終えて
各実習後は、実習を振り返ることで教職に対する理解を深めます。
なお、高等学校の免許のみ取得することを考えているからといって、介護等体験に関わる授業を欠席することは認められません。
授業実施日の具体的な日程については第1回目の授業時に示します。（授業日、授業教室等については、教員・保育士養成センターの掲示で確認すること。）

授業計画

第1回	実習全般に対する理解と4年次の教育実習校への内諾依頼の指導
第2回	特別支援学校実習に向けての事前指導
第3回	社会福祉施設における介護実習に向けての事前指導
第4回	社会福祉施設での実習体験の報告会と反省、特別支援学校実習の事前指導
第5回	特別支援学校での実習体験の報告会と反省
第6回	教育実習での参観実習の方法①
第7回	教育実習での参観実習の方法②
第8回	介護等体験実習全般の事後指導 「実習ノート」提出
第9回	教職課程における実習の意義についての確認
第10回	「実習の手引き」の内容確認と実習記録の書き方①
第11回	「実習の手引き」の内容確認と実習記録の書き方②
第12回	校務分掌の確認・学習指導要領の各「領域」の確認
第13回	実習報告会
第14回	実習レポートの作成
第15回	実習レポートを踏まえた生徒指導・学習指導の再点検
第16回	実習全般のまとめ 実習記録の返却

到達目標

介護等体験実習・教育実習の意義を理解し、教職に向けての準備や自己点検を行うことを目標とします。

履修上の注意

授業ごとの課題や事前に準備しておくことは、そのつど指示します。学内だけで完結する授業ではないことを明確に意識してください。授業への取り組み方が実習に相応しくないと授業者が判断した場合、実習に行けなくなる場合もあります。

学生という立場による実習とはいえ、教育の現場に入れば、責任ある社会の一員であることを自覚して授業に臨んでください。遅刻・欠席は認めません。

予習復習

毎時間、課題を出します。それが予習・復習になります。

評価方法

授業ごとに実施する課題、レポート、また授業への取り組み方で総合的に評価します。

テキスト

- ・「介護等体験の手引き」「教育実習の手引き」「介護等体験記録ノート」「教育実習記録」
- ・他は、毎時間、授業資料・プリントを用意します。